

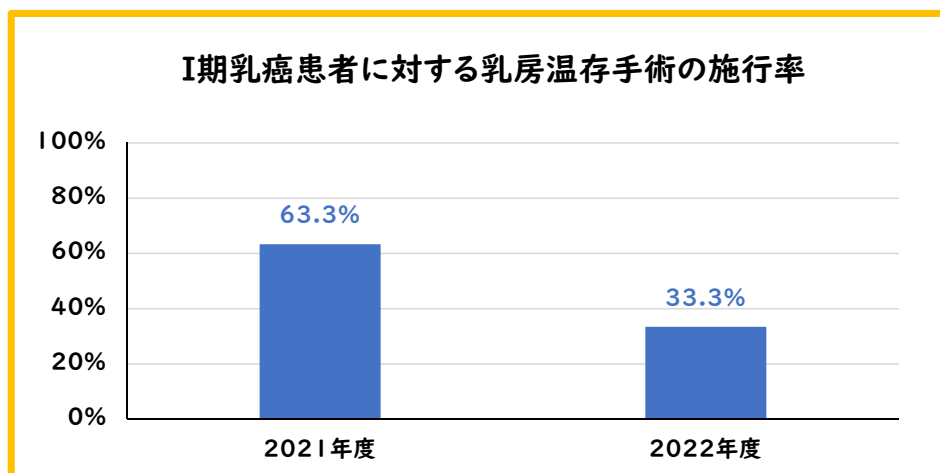
15 I期乳がん患者に対する乳房温存手術の施行率

乳腺外科

◆解説◆

腫瘍径が小さな乳癌は、腫瘍が乳頭に近いなどの理由で温存手術が困難な場合もありますが、放射線治療の併用で根治性を保ちながら、整容性も得られる温存手術が望まれます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

乳房温存手術には残存乳房への放射線照射が根治性を保つために重要です。

2022年度は高齢患者さんが多く、整容性の重視よりも、1ヶ月超の治療期間を要する放射線照射の負担を懸念し、乳房切除を選択する患者さんの割合が多くなりました。

乳癌手術に対する患者さんの考え方は多様であり、患者さんの状況に即した適切な術式の選択が今後も必要であると考えます。

◆定義◆

当院でのI期乳がん患者に対し乳房温存手術の施行した率。分母：当院でのI期乳がん手術件数 分子：I期乳がんで乳房温存手術を行った件数